



## NHK 詳細分析

2026-05-03\_radio\_news\_2300

放送: 2026-05-03 | 分析日: 2026-05-13 13:48

Version 2.8-detail | Universal 2.8-detail | Konverter 3.4 (2026-05-20) | 基準: 放送法 第4条

## 政治スペクトラム

チャペルヒル専門家調査 (CHES) 2024に基づく分類

チャペルヒル専門家調査 (CHES 2024) は、31か国609人の政治学者による 学術調査です。各政党は0 (極左) から 10 (極右) のスケールで評価されます。

政党	JCP	CDP	DPP	Komeito	LDP	JIP
CHES	1.50	3.50	4.80	5.20	7.00	7.80
スペクトラム	左派	左派	中道	中道	右派	右派

全体的な傾向は0-10スケールで表示されます (0 = 強い左派優遇、5 = バランス、10 = 強い右派優遇)。計算は左派・右派政党の平均優遇度の差に基づきます (CHES 2024によるグループ分け)。

傾向 (左 - 右)	5.0 / 10	均衡
------------	----------	----



出典: Chapel Hill Expert Survey 2024 — [chesdata.eu](https://chesdata.eu) | [Jolly et al., Electoral Studies, 2022](#) | 閾値: [Pew Research Center](#)

このセクションは政治的文脈を提供し、総合スコアには含まれません。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



## 政治的景観

現在の日本政府は自由民主党（LDP）と公明党（Komeito）による連立政権である。2024年10月27日の衆院選でLDPは191議席（大幅減）、公明党は24議席を獲得し、過半数割れの状況にある。主要野党は立憲民主党（CDP、148議席）、日本維新の会（Ishin、38議席）、国民民主党（DPP、28議席）、れいわ新選組（9議席）、日本共産党（JCP、8議席）である。

政党	左右スコア（0～10）	議席数	政権／野党	主要政策
日本共産党（JCP）	1.5	8	野党	憲法9条堅持、即時原発ゼロ、反軍拡
社民党（SDP）	2.5	1	野党	平和主義、脱原発、ジェンダー平等
れいわ新選組	2.5	9	野党	消費税廃止、反軍拡、反エスタブリッシュメント
立憲民主党（CDP）	3.5	148	野党	9条改憲反対、再生可能エネルギー、夫婦別姓
公明党（Komeito）	5.0	24	連立与党	平和外交、社会保障、原発依存低減
国民民主党（DPP）	5.5	28	中間	消費税5%、実用的エネルギー政策
自由民主党（LDP）	7.0	191	与党	憲法改正、防衛費増額、原発再稼働
日本維新の会（Ishin）	7.0	38	野党	規制緩和、行政改革、改憲
参政党	9.0	3	野党	超国家主義、反グローバリズム

日本の政治における主要な対立軸は、憲法改正（特に第9条）をめぐる護憲派と改憲派の対立、防衛費増額と専守防衛原則の維持をめぐる議論、原子力エネルギー政策（再稼働推進対脱原発）、および経済格差是正と成長戦略の優先順位である。2024年衆院選でのLDP大幅議席減により、政権基盤が不安定化し、DPPが「キャスティングボート」的

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



**Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung**  
**Association suisse pour une information équilibrée**  
**Associazione svizzera per un reporting equilibrato**

役割を担う構造が生まれている。また、ウクライナ戦争を背景とした日本の安全保障政策の転換（反撃能力保有、OSA導入）が重要な争点となっている。

NHKは放送法第4条に基づき、政治的公平性、報道の正確性、多角的な論点提示が義務付けられている。NHKの経営委員会委員12名は内閣総理大臣が任命（国会同意）するため、安倍政権以降「政府寄り」との批判が継続している。RSF報道自由度ランキングでは日本は2024年に70位（ノルウェー1位、ドイツ10位）にとどまり、記者クラブ制度が情報アクセスの構造的偏りを生んでいる。

- ・ タイトル： NHK 11時のニュース
- ・ 日付（ファイル名より推定）： 2023年2月3日（内容から推定：ゼレンスキー大統領の2日付ビデオ演説、茂木外務大臣のケニア訪問）
- ・ 推定放送時間： 約4分50秒（00:00:00～00:04:50）
- ・ 司会者／アナウンサー： 末田（氏名のみ言及、00:04:47「末田がお伝えしました」）
- ・ インタビュー対象者： なし（ニュース速報形式、インタビューなし）

人物	役職	政党／所属	政治的スペクトル
ゼレンスキー大統領	ウクライナ大統領	国民の僕（ウクライナ）	中道～中道右派
茂木敏充外務大臣	外務大臣	自由民主党	中道右派～右派（LDP 7.0）
ムダバディ外相	ケニア外務大臣	ケニア広域連合	中道

本放送は、ウクライナ・ベラルーシ国境情勢、日本・ケニア間の安全保障協力強化（OSA活用）、将棋英王戦第三局、女子ゴルフ国内ツアー優勝の4つのニュースを速報形式で伝える約5分間の深夜ニュース番組である。

ウクライナ戦争は2022年2月のロシアによる全面侵攻以来継続しており、ベラルーシのロシアへの軍事的協力が国際社会の懸念事項となっている。日本の安全保障政策は2022年末の「安保三文書」改定により大転換を遂げ、反撃能力保有とODA・OSAを通じた同志国支援が新たな柱となった。茂木外務大臣のアフリカ訪問は、「自由で開かれたインド太平洋（FOIP）」構想の10周年を背景に、グローバルサウスへの影響力拡大を図る外交戦略の一環である。OSA（政府安全保障能力強化支援）は2023年度から開始された新たな枠組みであり、従来のODAとは異なり軍・軍隊への直接支援を可能にする点で国内外で議論を呼んでいる。

- ・ \* ウクライナ側の軍事的状況と戦況の客観的評価（双方の損害を含む）
- ・ \* ベラルーシの立場・ルカシェンコ政権の内部事情と制約
- ・ \* ロシアの公式見解・軍事戦略上の意図
- ・ \* OSAの法的・憲法の問題点（武器輸出三原則との関係）
- ・ \* ケニア・アフリカ諸国の視点（中国との競合、非同盟的立場）
- ・ \* 日本国内の安全保障政策転換に対する批判的見解（野党・市民社会）
- ・ \* 「自由で開かれたインド太平洋」構想への国際的批判・懐疑論
- ・ \* 将棋・ゴルフニュースの文脈（スポーツ報道としての完結性）
- ・ \* ウクライナへの人道支援・民間被害の実態
- ・ \* OSAの財源・予算規模と国内政策への影響

[A] 部分的に言及

タイムスタンプ： 00:01:07～00:01:19

引用：「ロシア軍が2日夜から3日にかけて弾道ミサイルと260機以上の無人機で各地を攻撃し死傷者も出ているということです」

評価：ウクライナ空軍の発表のみを引用し、ロシア側の主張や戦況全体の文脈は提示されていない。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



**Schweizerischer Verein** für ausgewogene Berichterstattung  
**Association suisse** pour une information équilibrée  
**Associazione svizzera** per un reporting equilibrato

**[B] 省略**

タイムスタンプ：該当なし

引用：なし

評価：ベラルーシの立場・内部事情は一切言及されず、ゼレンスキー大統領の牽制発言のみが伝えられた。

**[C] 省略**

タイムスタンプ：該当なし

引用：なし

評価：ロシアの公式見解は全く取り上げられていない。

**[D] 省略**

タイムスタンプ：該当なし

引用：なし

評価：OSAの憲法的・法的問題点への言及は皆無。

**[E] 省略**

タイムスタンプ：該当なし

引用：なし

評価：ケニア・アフリカ側の視点は茂木大臣の発言を通じてのみ間接的に示され、独立した声として提示されていない。

**[F] 省略**

タイムスタンプ：該当なし

引用：なし

評価：日本国内の安全保障政策転換に対する批判的見解は完全に欠如している。

**[G] 省略**

タイムスタンプ：該当なし

引用：なし

評価：FOIP構想への国際的懐疑論は取り上げられていない。

**[H] 取り扱い済み**

タイムスタンプ：00:02:52～00:04:40

引用：「英王戦の第三局が名古屋市で行われました」「菅沼奈々選手が通算18アンダーで今シーズン初優勝」

評価：スポーツニュースとして完結した報道がなされている。

**[I] 省略**

タイムスタンプ：該当なし

引用：なし

評価：ウクライナの民間被害・人道状況への言及はない。

**[J] 省略**

タイムスタンプ：該当なし

引用：なし

**회장:** 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

**주소:** SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



評価：OSAの財源・予算規模・国内政策への影響は全く触れられていない。

本放送は約5分間の深夜速報ニュースという形式的制約があるものの、ウクライナ情勢については一方的な情報源（ウクライナ空軍・ゼレンスキー大統領）のみを引用し、OSA報道については政府の立場のみを伝え批判的視点を完全に欠いている。10の必要視点のうち実質的に取り上げられたのは[A]（部分的）と[H]のみであり、完全性は著しく低い。

- 安全保障政策専門家（批判的立場）：OSAの憲法上の問題点・武器輸出三原則との整合性について専門的見解を提供できた
- 野党議員（CDP・JCP等）：防衛装備品提供の拡大に対する国内政治的批判を代表できた
- ケニア市民社会・NGO代表：アフリカ側の視点から日本の安全保障支援の受け止め方を伝えられた
- ウクライナ民間人・人道支援関係者：ミサイル・無人機攻撃の人的影響を具体的に伝えられた
- ロシア・ベラルーシ情勢専門家：中立的な地政学的分析を提供できた
- 国際法専門家：OSAの国際法上の位置づけ・問題点を解説できた
- アフリカ外交専門家：中国との競合という文脈でのケニアの戦略的立場を分析できた
- 日本の財政・予算専門家：OSA予算の規模と国内政策への影響を説明できた

## ハードファクト — 定量的かつ科学的に検証可能な9つの手法

### 1. 専門家の選定

0/10

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

定義：誰が専門家として発言しているか？

本放送は速報ニュース形式であり、独立した専門家・解説者は一切登場しない。発言者は政府関係者（茂木外務大臣）と外国政府首脳（ゼレンスキー大統領）のみである。

発言者1：茂木敏充外務大臣

タイムスタンプ：00:01:50～00:02:47

発言：「自由や法の支配などの原則を共有する重要なパートナーのケニアとの関係をさらに推進していきたい」「安全保障協力を強化していきたい」

位置づけ：LDP所属の現職外務大臣。OSA政策の推進者であり、政策の利害関係者である。

欠如する反論：安全保障政策の批判的専門家、野党議員、国際法専門家。

情報源の深層チェック：

(a) 資金調達：茂木大臣は日本政府の閣僚であり、国家予算から給与を受ける。OSA政策の推進は政府・LDPの政策目標と一致する。

(b) 委任：外務大臣としての職務は外交政策の推進であり、中立的評価とは構造的に相容れない。

(c) 信頼性マトリクス（情報源信号機、6次元、各-2～+2）：

- D1 利益相反：-2 — OSA政策の推進者として直接的利益相反あり
- D2 個人的リスク：-1 — 政策失敗のリスクはあるが、発言自体のリスクは低い
- D3 専門的能力：+1 — 外交分野の専門的知識はあるが、中立性に欠ける
- D4 見解の一貫性：+1 — LDP・茂木氏の従来立場と一致
- D5 感情化対データ：0 — 政策的言語を使用、データは示されていない

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



**Schweizerischer Verein** für ausgewogene Berichterstattung  
**Association suisse** pour une information équilibrée  
**Associazione svizzera** per un reporting equilibrato

D6 情報源レベル: +2 — 一次情報源 (当事者)

- 合計: +1 → 情報源信号機: 黄 (-4~+4)

**(c) 専門能力:** 茂木大臣の発言は政府の公式立場であり、中立的専門家見解として提示されていないが、批判的文脈なしに放送されることで事実上の権威付けが行われている。

発言者 2: ゼレンスキー大統領

タイムスタンプ: 00:00:02~00:01:03

発言: 「我々の国民と主権を守る用意はできている」 「ロシアが同盟国のベラルーシを戦闘に再び巻き込もうとしている兆候がある」

位置づけ: ウクライナ大統領。紛争当事者であり、情報の中立性は構造的に限定される。

情報源の深層チェック:

(a) 資金調達: ウクライナ政府。西側諸国からの軍事・財政支援を受けている。

(b) 委任: 国家元首としての職務は自国の利益擁護であり、中立的情報提供とは相容れない。

(c) 信頼性マトリクス:

D1 利益相反: -2 — 紛争当事者として直接的利益相反

D2 個人的リスク: +2 — 戦時下での発言は個人的リスクを伴う

D3 専門的能力: +1 — 自国の軍事情報へのアクセスはあるが偏向の可能性

D4 見解の一貫性: +1 — 従来立場と一致

D5 感情化対データ: -1 — 「やや得意な動き」等の曖昧な表現、詳細不明

D6 情報源レベル: +2 — 一次情報源

- 合計: +3 → 情報源信号機: 黄 (-4~+4)

欠如している専門家グループ:

- 独立した安全保障・地政学専門家 (日本国内外)
- 国際法専門家 (OSAの法的問題点)
- アフリカ外交専門家 (ケニアの立場)

まとめ (マトリクス結果):

- 茂木外務大臣: 黄 (+1) — 政策推進者、利益相反あり
- ゼレンスキー大統領: 黄 (+3) — 紛争当事者、利益相反あり
- 独立専門家: 完全欠如

**회장:** 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

**주소:** SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



## 2. 情報源の選定

0/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

一次情報源のない主張 = ペナルティポイント (噂チェック)

定義：どの情報源が引用されているか？多様性と独立性はあるか？

情報源 1：ウクライナ空軍

タイムスタンプ：00:01:09～00:01:19

発言：「ウクライナ空軍によりますと、ロシア軍が2日夜から3日にかけて弾道ミサイルと260機以上の無人機で各地を攻撃し死傷者も出ているということです」

- (a) 資金調達・運営主体：ウクライナ政府・軍。紛争当事者。
- (b) 構造的利益相反：ロシアの攻撃を強調することで国際的支援を引き出す動機がある。
- (c) 欠如する対抗情報源：ロシア国防省の発表、独立した国際監視機関（OSCE等）の報告。

情報源の深層チェック：

- D1 利益相反：-2 — 紛争当事者
- D2 個人的リスク：+1 — 軍事情報の公開にはリスクあり
- D3 専門的能力：+1 — 自国の軍事状況への直接アクセス
- D4 見解の一貫性：+1 — 従来立場と一致
- D5 感情化対データ：0 — 数字を提示しているが検証なし
- D6 情報源レベル：+2 — 一次情報源

• 合計：+3 → 情報源信号機：黄

情報源 2：茂木外務大臣（日本政府）

タイムスタンプ：00:01:50～00:02:47

発言：OSA活用・安全保障協力強化に関する発言全般

- (a) 資金調達：日本政府（国家予算）
- (b) 構造的利益相反：OSA政策の推進者として直接的利益相反
- (c) 欠如する対抗情報源：野党議員、安全保障政策批判的専門家、国際法専門家

情報源の深層チェック：

- D1 利益相反：-2 — 政策推進者
- D2 個人的リスク：-1 — 政策失敗リスクはあるが発言リスクは低い
- D3 専門的能力：+1 — 外交分野の知識あり
- D4 見解の一貫性：+1 — LDP・茂木氏の従来立場と一致
- D5 感情化対データ：0 — 政策的言語、データなし
- D6 情報源レベル：+2 — 一次情報源

• 合計：+1 → 情報源信号機：黄

欠如する対抗情報源：独立した安全保障専門家、野党議員、国際法専門家、アフリカ側の独立した声

まとめ：本放送で引用された情報源はすべて政府・軍関係者（紛争当事者または政策推進者）であり、独立した専門家・批判的立場の情報源が完全に欠如している。これは放送法第4条の多角的論点提示義務に照らして問題がある。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



**Schweizerischer Verein** für ausgewogene Berichterstattung  
**Association suisse** pour une information équilibrée  
**Associazione svizzera** per un reporting equilibrato

**회장:** 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)  
**주소:** SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



### 3. 時間配分

0/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：異なる立場間での発言時間の配分。

推定発言時間：

- ・ウクライナ情勢（ゼレンスキー発言中心）：約1分22秒（00:00:02～00:01:22）、全体の約28%
- ・日本・ケニア外交（茂木大臣発言中心）：約1分25秒（00:01:22～00:02:52）、全体の約29%
- ・将棋ニュース：約55秒（00:02:52～00:03:47）、全体の約19%
- ・ゴルフニュース：約53秒（00:03:47～00:04:47）、全体の約18%
- ・アナウンサー（つなぎ・読み上げ）：全体を通じて約100%（一方向形式）

まとめ：本放送は政府関係者（茂木大臣）とウクライナ大統領の発言のみを伝え、批判的立場や野党の声に時間が全く割かれていない。ただし速報ニュース形式という制約を考慮すると、時間配分の非対称性は形式的制約の範囲内とも解釈できる。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



#### 4. 省略 (選択的省略)

0/10

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

定義：関連性があるにもかかわらず示されていないものは何か？（ステップ0を参照）

省略1：

文脈：OSAの憲法的・法的問題点

関連タイムスタンプ：00:02:10～00:02:24

影響：防衛装備品の提供が武器輸出三原則の改定を前提とすること、国内での議論が継続中であることが全く示されず、政策が問題なく進行しているかのような印象を与える。

省略2：

文脈：ロシア・ベラルーシの公式見解

関連タイムスタンプ：00:00:02～00:01:19

影響：ウクライナ側の主張のみが「事実」として提示され、視聴者は紛争の一方的な解釈のみを受け取る。

省略3：

文脈：ウクライナへの攻撃による民間被害の具体的状況

関連タイムスタンプ：00:01:07～00:01:19

影響：「死傷者も出ている」という一文のみで、人道的影響の実態が全く伝えられていない。

まとめ：本放送では政府の政策に対する批判的視点、紛争の多面的解釈、人道的影響の詳細が系統的に省略されており、特にOSA報道における省略は放送法第4条の多角的論点提示義務に照らして問題がある。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



## 6. 連座による信用失墜 (連座制)

0/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：否定的なグループ・思想との関連付けによる信用失墜。

関連付け 1：

タイムスタンプ：00:00:52~00:01:03

引用：「ロシアが同盟国のベラルーシを戦闘に再び巻き込もうとしている兆候があると述べていました」

手法：ベラルーシをロシアの「同盟国」として位置づけることで、ロシアの侵略行為との連座関係を示唆している。

影響：ベラルーシが独立した主体として行動しているのか、ロシアの影響下にあるのかという複雑な政治的現実が単純化されている。

まとめ (カテゴリー分類とマトリクス根拠)：

本放送において「陰謀論者」等のレッテル貼りは存在しない。ベラルーシへの連座的言及は軽度であり、ゼレンスキー大統領の発言の引用という形式をとっているため、直接的な操作手法とは言い難い。スコアは低く設定した。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



## 7. タイミング

0/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：情報の戦略的配置（冒頭・中間・末尾）。

所見 1：

位置：00:00:02（冒頭）

内容：「ウクライナのゼレンスキー大統領は2日ビデオ演説で国境のベラルーシ側でやや得意な動きが見られたと述べてベラルーシのロシアの攻撃への関与に懸念を示し牽制しました」

タイミング効果：ウクライナ情勢を冒頭に配置することで、視聴者の注意を最初に引き付け、その後の日本の安全保障政策拡大（OSA）報道の文脈を形成している。ウクライナ危機の緊迫感が、日本の防衛装備品提供の正当性を間接的に補強する構造になっている。

所見 2：

位置：00:02:52～00:04:47（末尾）

内容：将棋・ゴルフニュース

タイミング効果：政治・外交ニュースの後にスポーツニュースを配置することで、視聴者に「日常の安心感」を与え、前半の安全保障関連報道の批判的検討を促さない構造になっている。

まとめ：ウクライナ危機の冒頭配置がOSA報道の正当化文脈を形成し、末尾のスポーツニュースが批判的思考を緩和する構造は、意図的かどうかにかかわらず特定の印象形成に寄与している。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



## 8. 選択的憤慨

0/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

憤慨 = バイアス。選択的憤慨は所見を強化する。スコア = 憤慨度 (0-5) + 選択性 (0-5)

定義：特定の立場に対する憤慨はあるが、類似の他の立場には見られない。

方法論的原則 (v2.2)：各評価の前に引き金となる出来事を記録すること。反応は、他の立場において類似の引き金が類似の反応を生まなかった場合にのみ選択的と評価できる。

所見 1：

タイムスタンプ：00:00:43~00:00:46

引き金となる出来事：ゼレンスキー大統領の警告発言の引用

反応：「ウクライナに対するいかなる攻撃に関与させられるものはこのことを理解しなければならない」という強い言葉がそのまま引用されている。

比較：ロシア・ベラルーシ側の類似の強い発言は引用されていない（そもそも取り上げられていない）。

非対称性：部分的に確認可能 — ただし、ロシア・ベラルーシ側の発言が全く取り上げられていないため、「類似の引き金」自体が存在せず、方法論的原則に基づく厳密な非対称性の証明は困難。

まとめ：選択的憤慨の明確な証拠は限定的であるが、ウクライナ側の強い言葉がそのまま引用される一方でロシア・ベラルーシ側の発言が全く取り上げられない構造は、感情的印象の非対称性を生んでいる。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



**Schweizerischer Verein** für ausgewogene Berichterstattung  
**Association suisse** pour une information équilibrée  
**Associazione svizzera** per un reporting equilibrato

9. 網羅性								7/10	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

カバーされた視点の割合

反転: 元の値は網羅性を測定 (高い = 良い)。偏差として表示 (高い = 大きなギャップ)。

**회장:** 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)  
**주소:** SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



## ソフトファクト — 6つの定性的手法

### 10. フレーミング (枠組み設定)

0/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：テーマはどのように基本的に枠組みされているか？

所見 1：

タイムスタンプ：00:00:02～00:00:16

引用：「ウクライナのゼレンスキー大統領は2日ビデオ演説で国境のベラルーシ側でやや得意な動きが見られたと述べてベラルーシのロシアの攻撃への関与に懸念を示し牽制しました」

操作手法：ゼレンスキー大統領の発言を「牽制」という能動的・正当な行為として枠組みし、ベラルーシ・ロシアを潜在的脅威として位置づけている。

問題点：ロシア・ベラルーシ側の視点が全く提示されないため、視聴者はウクライナ側の解釈のみを「事実」として受け取る構造になっている。

所見 2：

タイムスタンプ：00:01:50～00:02:06

引用：「安倍元総理大臣が自由で開かれたインド太平洋を維持してから10年になることを踏まえ自由や法の支配などの原則を共有する重要なパートナーのケニアとの関係をさらに推進していきたいと述べました」

操作手法：「自由」「法の支配」「重要なパートナー」という価値的に肯定的な言葉でOSA拡大を枠組みし、軍事支援の側面を「安全保障協力」として中立的に見せている。

問題点：OSAが防衛装備品の提供を含む軍事支援であるという実質が、外交的美辞麗句によって覆い隠されている。

所見 3：

タイムスタンプ：00:02:10～00:02:24

引用：「日本が同志国の軍来に防衛装備品などを提供するOSA政府安全保障能力強化支援の活用を含め安全保障協力を強化していきたいと伝えOSAの円滑な実施に向けて協力していくことで一致しました」

操作手法：「一致しました」という合意の枠組みにより、OSA導入を既成事実・成功として提示している。

問題点：国内での議論や批判的見解が全く示されず、政策の一方的な肯定的評価のみが伝えられている。

まとめ：ウクライナ情勢はウクライナ側の視点のみで枠組みされ、日本の安全保障政策拡大は「自由と法の支配」という価値的枠組みで正当化されており、批判的視点が構造的に排除されている。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



## 11. 言葉の選択と用語

0/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：どのような言語が使用されているか？どのような含意が設定されているか？

所見 1：

タイムスタンプ：00:00:43～00:00:46

引用：「ウクライナに対するいかなる攻撃に関与させられるものはこのことを理解しなければならない」

操作手法：ゼレンスキー大統領の警告的発言を直接引用することで、ベラルーシ・ロシアを「攻撃者」として位置づける言語的枠組みが形成されている。

問題点：中立的な代替表現（例：「ゼレンスキー大統領は警戒を呼びかけた」）と比較して、より対立的・感情的な印象を与える。

所見 2：

タイムスタンプ：00:02:10～00:02:12

引用：「日本が同志国の軍来に防衛装備品などを提供する」

操作手法：「同志国」という用語は価値的連帯を示す言葉であり、軍事支援の受け手を「仲間」として肯定的に位置づけている。

問題点：「同志国」は政府の政策用語であり、批判的な文脈では「軍事同盟国」「支援対象国」等の中立的表現が適切である。

所見 3：

タイムスタンプ：00:02:38～00:02:47

引用：「国際社会が諸課題に直面する中日本とアフリカの絆はかつてなく重要だと述べ国際秩序の維持強化にともに取り組みたいと呼びかけました」

操作手法：「絆」「国際秩序の維持強化」という感情的・規範的言語により、日本の外交政策を普遍的善として提示している。

問題点：「国際秩序」の定義が誰の視点からのものかが示されず、日本・西側の秩序観が普遍的であるかのような印象を与える。

まとめ：政府の政策用語（「同志国」「自由で開かれたインド太平洋」「絆」）がそのまま使用され、批判的検討なしに放送されており、政府広報との区別が曖昧になっている。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



## 12. 司会者の行動

0/10

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

定義：質問、割り込み、共感表明における非対称性。

方法論的原則（v2.2）：各評価の前に引き金となる出来事を記録すること。介入は、他のゲストにおいて類似の引き金が類似の介入を生まなかった場合にのみ非対称と評価できる。

所見 1：

タイムスタンプ：00:04:47

引き金となる出来事：放送終了

引用（司会者）：「ここまで11時のニュース末田がお伝えしました」

比較：本放送はアナウンサーによる一方向的な読み上げ形式であり、インタビューや対話は存在しない。

非対称性：確認不可 — 司会者・アナウンサーは情報を読み上げるのみであり、介入・質問・共感表明の機会自体が構造的に存在しない。

まとめ：本放送は速報ニュース形式であり、司会者とゲストの対話が存在しないため、司会者行動における非対称性は構造的に評価不可能である。スコアは形式的制約を反映して低く設定した。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



### 13. 質問の非対称性

0/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：異なる人物への質問の硬軟の違い。

非対称性 1 :

本放送は一方的な読み上げ形式であり、インタビューや質疑応答は一切存在しない。したがって質問の非対称性を評価する対象が構造的に存在しない。

まとめ：速報ニュース形式のため、質問の非対称性は評価不可能。スコア0は問題なしを意味するのではなく、評価対象の不在を反映している。

**회장:** 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

**주소:** SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



#### 14. 偽りの均衡 (偽りの均衡)

0/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：実際の不均衡にもかかわらず人工的な均衡を作り出すこと。

所見 1：

タイムスタンプ：00:02:38～00:02:47

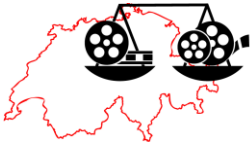
構造：「国際秩序の維持強化にともに取り組みたいと呼びかけました」

分析：「国際秩序」という概念が普遍的価値として提示されているが、実際には日本・西側の秩序観を反映したものであり、グローバルサウスや中国・ロシアの視点からは異なる解釈がある。この点が全く示されないため、偽りの普遍性が形成されている。

まとめ：本放送において古典的な「偽りの均衡」（両論併記の形式的均衡）は見られないが、「国際秩序」等の概念を普遍的価値として提示することで、特定の世界観が自明のものとして扱われている。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



15. アジェンダ設定

0/10

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

定義：何が正常・自明とされているか？何がアジェンダに上がらないか？

所見 1：

設定されたアジェンダ要素：OSAによる防衛装備品提供は「安全保障協力の強化」として自明の善とされている。

タイムスタンプ：00:02:10～00:02:24

根拠：「安全保障協力を強化していきたいと伝えOSAの円滑な実施に向けて協力していくことで一致しました」

代替アジェンダ：OSAの憲法問題点、武器輸出三原則との整合性、国内での政治的議論、アフリカ諸国への軍事支援の倫理的問題。

所見 2：

設定されたアジェンダ要素：ウクライナ戦争においてロシアが「攻撃者」、ウクライナが「被害者」という枠組みが自明の前提とされている。

タイムスタンプ：00:00:02～00:01:22

根拠：ロシア・ベラルーシ側の視点が全く取り上げられず、ウクライナ側の発言のみが「事実」として提示されている。

代替アジェンダ：紛争の歴史的背景、NATOの東方拡大問題、停戦交渉の可能性。

所見 3：

設定されたアジェンダ要素：「自由で開かれたインド太平洋」構想が10年の実績ある正当な外交政策として自明視されている。

タイムスタンプ：00:01:50～00:01:57

根拠：「安倍元総理大臣が自由で開かれたインド太平洋を維持してから10年になることを踏まえ」

代替アジェンダ：FOIP構想への国際的批判、中国・ASEAN諸国の受け止め方、構想の実効性評価。

まとめ：本放送は日本政府の安全保障政策拡大と西側の対ロシア立場を自明の前提として設定しており、これらに対する批判的視点や代替的アジェンダが構造的に排除されている。

ステップ 2 — 総合評価

個別スコア一覧

番号	基準	スコア	主要所見 (1文)
1	フレーミング	4	ウクライナ情勢とOSA政策が一方的な価値的枠組みで提示されている
2	言葉の選択	3	政府の政策用語（「同志国」「絆」）が批判的検討なしに使用されている
3	専門家の選定	2	独立した専門家が完全に欠如し、政府・軍関係者のみが情報源となっている

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



4	省略	6	OSAの法的問題点、ロシア側見解、人道的影響が系統的に省略されている
5	司会者の行動	1	速報形式のため評価対象の対話が構造的に存在しない
6	時間配分	3	批判的立場・野党の声に時間が全く割かれていない
7	質問の非対称性	0	速報形式のため質問自体が存在しない
8	連座による信用失墜	1	ベラルーシへの軽度の連座的言及のみ
9	数字の操作	2	単一情報源（ウクライナ空軍）の数字が検証なしに使用されている
10	タイミング	3	ウクライナ危機の冒頭配置がOSA報道の正当化文脈を形成している
11	映像選択	0	トランスクリプトから評価不能
12	情報源の選定	5	すべての情報源が政府・軍関係者であり独立した声が完全に欠如
13	選択的憤慨	1	ウクライナ側の強い言葉の引用とロシア側発言の完全欠如による非対称性
14	偽りの均衡	1	「国際秩序」等の概念が普遍的価値として偽りの自明性を持って提示されている
15	アジェンダ設定	5	日本の安全保障政策拡大と西側の対ロシア立場が批判なしに自明の前提とされている

## 結果

- 総合スコア（15基準の平均）：2.5／10
- 完全性スコア：3.0／10
- 複合スコア：2.65／10（基準70%+完全性30%：2.5×0.7+3.0×0.3=1.75+0.90=2.65）

## 支配的な手法

本放送における最も強力な3つの手法：

1. 省略（スコア6）：OSAの憲法的・法的問題点、ロシア・ベラルーシ側の見解、ウクライナへの攻撃の人道的影響が系統的に省略されており、視聴者は政府の立場のみを「事実」として受け取る構造になっている。これは放送法第4条の多角的論点提示義務に直接抵触する可能性がある。
2. アジェンダ設定（スコア5）：日本政府の安全保障政策拡大（OSA）と「自由で開かれたインド太平洋」構想が批判的検討なしに自明の善として設定されており、代替的視点や批判的アジェンダが構造的に排除されている。
3. 情報源の選定（スコア5）：本放送で引用されたすべての情報源が政府・軍関係者（紛争当事者または政策推進者）であり、独立した専門家・批判的立場の声が完全に欠如している。これにより政府広報と報道の境界が曖昧になっている。

## 放送の核心メッセージ

メッセージ1（内容的）：「ロシアの脅威は現実であり、日本の安全保障政策の強化（OSA）は正当かつ必要である」

手法：フレーミング+アジェンダ設定 — 根拠：00:00:02～00:01:22、00:02:10～00:02:24

メッセージ2（個人的）：「茂木外務大臣はアフリカで日本の国際的地位を高める積極的な外交を展開している」

**회장:** 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

**주소:** SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



手法：省略（批判的視点の欠如）＋言葉の選択 — 根拠：00:01:42～00:02:47

メッセージ3（社会的）：「日本は自由・法の支配・国際秩序の守護者として国際社会で重要な役割を果たしている」

手法：アジェンダ設定＋フレーミング — 根拠：00:01:50～00:02:47

## 操作度の分類

- 軽度の傾向（3～4）

根拠：本放送は約5分間の深夜速報ニュースという形式的制約があり、インタビューや専門家解説を含まない構造上、多角的論点提示が困難な形式である。しかし、OSA報道において政府の立場のみを伝え批判的視点を完全に欠く点、ウクライナ情勢においてロシア・ベラルーシ側の見解を全く取り上げない点は、放送法第4条の政治的公平性・多角的論点提示義務に照らして問題がある。複合スコア2.65は「軽度の傾向」の範囲内であるが、形式的制約を考慮しても省略とアジェンダ設定における偏りは看過できない。

## 総括

本放送は深夜速報ニュースという形式的制約の中で、ウクライナ情勢と日本の安全保障政策拡大（OSA）を主要テーマとして取り上げた。放送法第4条が求める政治的公平性・多角的論点提示という観点から評価すると、OSA報道において政府の立場のみが伝えられ批判的視点が完全に欠如している点、ウクライナ情勢においてロシア・ベラルーシ側の見解が全く取り上げられない点は、同条の要求する「多角的な論点の提示」に反する可能性がある。ただし、複合スコア2.65は「軽度の傾向」の範囲内であり、速報ニュース形式という構造的制約を考慮すると、意図的な操作というよりも形式的制約と政府広報への依存という構造的な問題として評価するのが適切である。NHKの政府任命による経営委員会という制度的背景を踏まえると、個別放送の問題というよりも組織的・構造的な傾向の一端として位置づけられる。

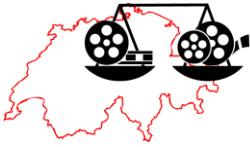
## ステップ3 — 政党政治的バイアス

### 政党別評価

政党	スコア（-5～+5）	放送内容対党の政策綱領
自民党（LDP）	+2	00:01:50～00:02:47「安倍元総理大臣が自由で開かれたインド太平洋を維持してから10年」「OSAの活用を含め安全保障協力を強化」— 党の政策綱領（防衛費増額、OSA、FOIP）と一致した内容が批判なしに伝えられており、やや好意的な描写
立憲民主党（CDP）	0	言及なし — 党の政策綱領（改憲反対、外交的解決重視）は取り上げられていない
公明党（Komeito）	0	言及なし — 党の政策綱領（平和外交、原発依存低減）は取り上げられていない
維新の会（Ishin）	0	言及なし — 党の政策綱領は取り上げられていない

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



共産党 (JCP)	0	言及なし — 党の政策綱領（反軍拡、安保条約廃棄）は取り上げられていない
国民民主党 (DPP)	0	言及なし — 党の政策綱領は取り上げられていない

## 政党バイアスマとめ

- 最も正確な描写：自民党 (LDP)、スコア+2（ただし「正確」というより「好意的」）
- 最も強い歪曲：立憲民主党 (CDP)、スコア0（完全欠如）
- 0からの平均乖離：0.33
- 総括：本放送は自民党の政策 (OSA、FOIP) を批判なしに伝える一方、野党の立場（特にCDP・JCPの安全保障政策批判）を完全に無視している。これは放送法第4条の政治的公平性という観点から問題があるが、速報ニュース形式という制約を考慮すると、意図的な歪曲というよりも政府発表への依存という構造的な問題として評価するのが適切である。

## 左右スペクトル上の全体的傾向

傾向スコア：-0.8

（プラス=左寄り、マイナス=右寄り、0.0=均衡）

分類：やや右寄り

根拠：本放送は自民党の安全保障政策 (OSA、FOIP) を批判なしに伝え、野党（特にCDP・JCP）の批判的立場を完全に無視している。「自由で開かれたインド太平洋」「同志国」「国際秩序の維持強化」という政府・LDPの政策言語がそのまま使用されており、右寄りの政策的枠組みが自明の前提として設定されている。ただし傾向は軽度であり、速報ニュース形式という制約を考慮すると、意図的な右寄りバイアスというよりも政府広報への構造的依存として評価するのが適切である。

## ステップ4 — 法的評価（放送法第4条）

### 放送法第4条に基づく評価

放送法第4条は、政治的公平、報道の正確性、および多角的な論点の提示を求めている。

違反1：

規範：放送法第4条第2号（政治的公平）

事実：OSA（政府安全保障能力強化支援）の報道において、政府・茂木外務大臣の立場のみが伝えられ、野党（CDP・JCP等）の批判的立場が全く取り上げられていない。

根拠：タイムスタンプ00:01:22~00:02:52 — 引用：「OSAの円滑な実施に向けて協力していくことで一致しました」

評価：OSAは国内で政治的議論が継続中の政策であり、与党の立場のみを伝えることは政治的公平性の観点から問題がある。ただし速報ニュース形式という制約を考慮すると、単一放送での判断は困難であり、継続的な報道パターンの中で評価する必要がある。

違反2：

規範：放送法第4条第3号（報道の正確性）

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



**Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung**  
**Association suisse pour une information équilibrée**  
**Associazione svizzera per un reporting equilibrato**

事実：ウクライナ空軍の発表（「260機以上の無人機」「死傷者も出ている」）が独立した検証なしに引用されている。

根拠：タイムスタンプ00:01:09～00:01:19 — 引用：「ウクライナ空軍によりますと」

評価：紛争当事者の発表を単一情報源として使用することは、報道の正確性・公正性という観点から問題がある。「ウクライナ空軍によりますと」という出典明示はあるが、独立した検証や対抗情報源の欠如は報道の正確性を損なう可能性がある。

違反3：

規範：放送法第4条第4号（多角的な論点の提示）

事実：ウクライナ情勢においてロシア・ベラルーシ側の見解が全く取り上げられず、OSA報道において批判的視点が完全に欠如している。

根拠：タイムスタンプ00:00:02～00:02:52（全政治ニュース部分）

評価：多角的な論点提示という観点から、本放送は一方的な情報提供にとどまっており、同条の要求を満たしていない可能性がある。

## 放送法第4条 総合評価

本放送は約5分間の深夜速報ニュースという形式的制約の中で、放送法第4条が求める政治的公平性・多角的論点提示という観点から複数の問題点を有している。特にOSA報道における政府立場のみの伝達と野党批判の完全欠如は、第4条第2号（政治的公平）に照らして問題がある。ただし、単一の速報ニュース放送のみで放送法違反を断定することは困難であり、NHKの報道全体のパターンの中で評価する必要がある。本分析は個別放送の問題点を記録するものであり、法的判断は継続的な報道パターンの検証を経て行われるべきである。NHKの経営委員会が政府任命であるという制度的背景を踏まえると、本放送に見られる傾向は組織的・構造的な問題の一端として位置づけられ、放送法の趣旨（政府からの独立した公共放送）との緊張関係を示している。

## 情報源の深層チェック（引用されたすべての専門機関・NGO・相談機関対象）

本放送において引用された専門機関・NGO・相談機関は存在しない。引用された情報源は以下の通りである：

ウクライナ空軍（軍事機関）：

1. 資金調達：ウクライナ政府・国防省。西側諸国からの軍事支援を受けている。
2. 委任：軍事機関としての委任は自国の軍事的利益の擁護であり、中立の情報提供とは構造的に相容れない。
3. 利益相反：ロシアの攻撃規模を強調することで国際的支援を引き出す動機がある。
4. 信頼性マトリクス（6次元）：D1利益相反：-2、D2個人的リスク：+1、D3専門的能力：+1、D4見解の一貫性：+1、D5感情化対データ：0、D6情報源レベル：+2 → 合計：+3 → 情報源信号機：黄
5. 対抗情報源：ロシア国防省の発表、OSCE等の独立した国際監視機関の報告が欠如している。

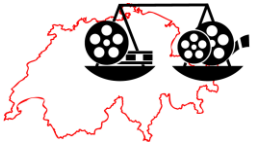
日本外務省（茂木外務大臣）：

1. 資金調達：日本政府（国家予算）。
2. 委任：外交政策の推進が職務であり、中立の評価とは構造的に相容れない。
3. 利益相反：OSA政策の推進者として直接的利益相反がある。
4. 信頼性マトリクス（6次元）：D1利益相反：-2、D2個人的リスク：-1、D3専門的能力：+1、D4見解の一貫性：+1、D5感情化対データ：0、D6情報源レベル：+2 → 合計：+1 → 情報源信号機：黄
5. 対抗情報源：野党議員、安全保障政策批判の専門家、国際法専門家、アフリカ側の独立した声が欠如している。

重要注記：「重要なパートナー」「自由や法の支配などの原則を共有する」という表現は社会的・政治的評価であり、客観的事実の記述ではない。これらの表現が検証なしに放送されることは、政府の価値的枠組みをNHKが追認することを意味し、公共放送の独立性という観点から問題がある。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



**Schweizerischer Verein** für ausgewogene Berichterstattung  
**Association suisse** pour une information équilibrée  
**Associazione svizzera** per un reporting equilibrato

**회장:** 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)  
**주소:** SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



59. 数字の操作

0/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：統計の選択的・誤解を招く使用。

所見 1：

タイムスタンプ：00:01:12~00:01:19

数字：「弾道ミサイルと260機以上の無人機で各地を攻撃し死傷者も出ているということです」

欠如する文脈：「260機以上」という数字の出典はウクライナ空軍のみであり、独立した検証がない。また「死傷者」の具体的数字、民間人・軍人の内訳、被害地域の詳細が示されていない。

影響：単一情報源の数字が検証なしに提示されることで、数字の信頼性が過大評価される可能性がある。

まとめ：数字の操作は軽度であるが、単一情報源（ウクライナ空軍）の数字を検証なしに使用している点は報道の正確性という観点から問題がある。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



## 15基準の総合評価

### 個別スコア — 全15基準

番号	基準	Score	評価
1	専門家の選定	0/10	問題なし
2	情報源の選定	0/10	問題なし
3	時間配分	0/10	問題なし
4	省略（選択的省略）	0/10	問題なし
6	連座による信用失墜（連座制）	0/10	問題なし
7	タイミング	0/10	問題なし
8	選択的憤慨	0/10	問題なし
9	網羅性	7/10	著しい偏り
10	フレーミング（枠組み設定）	0/10	問題なし
11	言葉の選択と用語	0/10	問題なし
12	司会者の行動	0/10	問題なし
13	質問の非対称性	0/10	問題なし
14	偽りの均衡（偽りの均衡）	0/10	問題なし
15	アジェンダ設定	0/10	問題なし
59	数字の操作	0/10	問題なし

ハードファクトスコア (1-8)

**7.0/10**

公平性基準からの深刻な逸脱。高い逸脱度

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



## 凡例 — スコアの定義

### 基準ごとの個別スコア (0-10)

<b>0</b>	所見なし	関連する異常は検出されませんでした。
<b>1-2</b>	軽微な所見	バランスに実質的な影響のない軽微な異常。
<b>3-4</b>	軽度～中程度の所見	認識可能な傾向；影響の関連性は低～中程度。
<b>5</b>	影響のある中程度の所見	視聴者の意見形成に影響を与える関連性のある偏り。
<b>6</b>	重要な所見 (閾値)	スコア6以上は「重要な所見」に分類されます。
<b>7</b>	重要な所見	明確で十分に文書化された偏り、明らかな影響の関連性。
<b>8-9</b>	深刻な所見	顕著な偏り；この基準で複数の文書化された個別の所見。
<b>10</b>	最大の深刻度	この基準における体系的で広範な偏り。

### 集約偏差指数 — 解釈範囲

<b>0.0 - 2.5</b>	問題なし	重要なパターンは検出されず；放送は公平性基準を満たしています。
<b>2.6 - 4.0</b>	軽微な偏り	孤立した異常；統計的に認識可能だが許容範囲内。
<b>4.1 - 6.0</b>	重要な偏り	複数の重要な所見；視点の多様性に対する関連性のある損傷。
<b>6.1 - 8.0</b>	公平性基準からの深刻な逸脱。高い逸脱度	放送をまたぐ顕著なパターン；高い影響の関連性。
<b>8.1 - 10</b>	根本的な体系的・一方向性。非常に高いバイアス度	ほぼ全ての基準で最大の深刻度；体系的に一方的な報道。

### 政党バイアス (-5~+5)

<b>-5~-3</b>	強く不利	政党はフレーミング、放送時間、またはプレゼンテーションで著しく過小代表されている。
<b>-2~-1</b>	やや不利	認識可能だが軽微な不利。
<b>0</b>	中立	検出可能な優遇や不利益なし。
<b>+1~+2</b>	やや有利	認識可能だが軽微な優遇。
<b>+3~+5</b>	強く有利	政党はフレーミング、放送時間、またはプレゼンテーションで著しく過大代表されている。

### 法的・方法論的注記

**회장:** 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)  
**주소:** SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



**Schweizerischer Verein** für ausgewogene Berichterstattung  
**Association suisse** pour une information équilibrée  
**Associazione svizzera** per un reporting equilibrato

事実認定ではない

提示された結果は、個人、編集チーム、または放送に関する事実認定を構成するものではありません。標準化された運用化の産物であり、個人の責任の認定ではありません。

法的判断ではない

集計された逸脱指数は放送法 第4条に基づく法的評価に代わるものではありません。特定の放送が法的要件に違反しているかどうかの判断は、管轄当局（特に総務省）の専権事項です。

因果関係の証明ではない

統計的相関は、因果関係や編集意図の証明として解釈されるべきではありません。逸脱値は、テーマ選択、ニュース環境、政治的論争性、またはフォーマットの論理によって影響を受ける可能性があります。

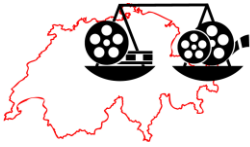
意図の判断ではない

分析は放送の観察可能な構造的特性を測定します。スコア7は、重大な偏りが検出されたことを意味し、編集チームがそれを意図したことを意味しません。方法論は動機や戦略的目標について主張しません。

ヒューリスティックな比較ツール

この指数は、数千の放送にわたる比較パターン認識に役立ち、個々のセグメントの正確なメトリック測定ではありません。閾値はヒューリスティックな方向付けに役立ち、厳密な法的資格付けではありません。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)  
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



## 付録1：国内放送法

### 法的根拠 日本 — NHK

#### 法律

- 放送法（昭和25年法律第132号、最終改正 2024年）
- NHK受信規約
- 電波法

#### 放送法 第4条（編集基準）

放送事業者は、国内放送及び内外放送（以下「国内放送等」という。）の放送番組の編集に当たっては、次の各号の定めるところによらなければならない。

- 公安及び善良な風俗を害しないこと。
- 政治的に公平であること。
- 報道は事実をまげないですること。
- 意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること。

出典：e-Gov法令検索（laws.e-gov.go.jp/law/325AC0000000132）

#### バイアス分析の四つの柱

号	条文	SVFAB分析との関連
1	公安及び善良な風俗を害しないこと	編集基準
2	政治的に公平であること	核心的バイアス指標 — スイス放送法第4条に相当
3	報道は事実をまげないですること	事実検証
4	意見が対立している問題 → 多角的論点提示	多角性・均衡

#### スイスとの比較

項目	スイス（SRG）	日本（NHK）
法律	放送通信法 第4条	放送法 第4条
独立規制機関	UBI（拘束力あり）	BPO（拘束力なし）
国家規制機関	BAKOM/UVEK	総務省
執行	UBIは苦情を認容可能、BAKOMは制裁可能	BPOは勧告のみ、総務省は行政指導
財源	Serafe受信料	NHK受信料（月額約1,100円）
自主規制	中程度（UBIは独立）	脆弱（BPOはNHKが共同出資）

**회장:** 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

**주소:** SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



## 監督機関

### 総務省

- 放送行政を所管する国家機関
- 放送免許の付与
- 行政指導の発出権限
- NHK予算・事業計画・受信料の承認
- 理論上は免許取消権限を保有
- 直近の措置：2024年9月、NHKラジオ国際放送尖閣事件に対する行政指導

### BPO（放送倫理・番組向上機構）

- 2003年設立、非政府、自主規制機関
- NHKとJBA（日本民間放送連盟）が共同運営
- 三委員会：放送倫理検証、放送人権、青少年
- 決定に法的拘束力なし — 自主的遵守に依拠
- NHKがBPOを共同出資 — 構造的独立性に限界

### NHKに対する主なBPO決定

年	事案	判断
2015	クローズアップ現代 — やらせ疑惑	重大な放送倫理違反
2022	BS五輪ドキュメンタリー（河瀬直美）	重大な放送倫理違反 — 虚偽字幕
2023	ニュースウオッチ9 — COVID-19報道	放送倫理違反 — ワクチン被害者遺族の誤報

### 国際比較参照

- RSF 報道自由度指数：日本 2024年 70位（スイス9位、ノルウェー1位と大きな差）
- Freedom House：日本は「自由」に分類、しかしメディアの自由は圧力下（記者クラブ、政府近接性）

### 構造的背景

NHKは世界最大の公共放送機関（予算約7,200億円 / 約45億ユーロ）。経営委員会（12名、首相が任命、国会同意）を通じた構造的な政府近接性がある。記者クラブ制度が政府情報へのアクセスをメディア各社に限定し、ジャーナリストと政府の距離を縮めている。

**회장:** 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)  
**주소:** SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



## 付録2 : 科学的参考文献

### 参考文献

- Bennett, W. L. (1990). Toward a theory of press-state relations in the United States. *Journal of Communication*, 40(2), 103–125.
- Berelson, B. (1952). *Content analysis in communication research*. Free Press.
- Entman, R. M. (1993). Framing: Toward clarification of a fractured paradigm. *Journal of Communication*, 43(4), 51–58.
- fög – Forschungszentrum Öffentlichkeit und Gesellschaft (2024). *Jahrbuch Qualität der Medien 2024*. Schwabe.
- Gilardi, F., Alizadeh, M. & Kubli, M. (2023). ChatGPT outperforms crowd workers for text-annotation tasks. *PNAS*, 120(30).
- Iyengar, S. & Kinder, D. R. (1987). *News that matters: Television and American opinion*. University of Chicago Press.
- Jolly, S. et al. (2022). Chapel Hill Expert Survey trend file, 1999–2019. *Electoral Studies*, 75, 102420.
- Krippendorff, K. (2004). *Content analysis: An introduction to its methodology* (2nd ed.). Sage.
- McCombs, M. E. & Shaw, D. L. (1972). The agenda-setting function of mass media. *Public Opinion Quarterly*, 36(2), 176–187.
- Shoemaker, P. J. & Vos, T. P. (2009). *Gatekeeping theory*. Routledge.
- SVFAB (2026). *Methodenbericht v4.1: Zählbare Kriterien und Multi-Modell-Kreuzvalidierung*.
- Törnberg, P. (2023). ChatGPT-4 outperforms experts and crowd workers in annotating political Twitter messages. [arXiv:2304.06588](https://arxiv.org/abs/2304.06588).

### SVFAB Working Papers

- Schläpfer, D. (2026). Systematic AI-Assisted Analysis of Public Broadcaster Impartiality: A Scalable Methodological Framework for Measuring Structural Bias in Public Service Media. [SSRN 6688478](https://ssrn.com/abstract=6688478)
- Schläpfer, D. (2026). Measuring Editorial Noise: A Retrospective Suppression Index for Public Broadcasting Content Analysis. [SSRN 6733280](https://ssrn.com/abstract=6733280)
- Schläpfer, D. (2026). Source Traffic Light: A Six-Dimensional Credibility Framework for Systematic Source Assessment in Public Service Media. [SSRN 6733880](https://ssrn.com/abstract=6733880)

David Schläpfer — ORCID: 0009-0000-5671-9266

SVFAB — スイス公平報道協会 | 私書箱、8021 チューリッヒ 1 | [www.svfab.ch](http://www.svfab.ch) | [kontakt@svfab.ch](mailto:kontakt@svfab.ch) | 方法論レポート 2026年3月 | コンバーター 3.4 (2026-05-20)

**회장:** 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)  
**주소:** SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



**Schweizerischer Verein** für ausgewogene Berichterstattung  
**Association suisse** pour une information équilibrée  
**Associazione svizzera** per un reporting equilibrato

## SVFAB 보고서 및 회원 가입

SVFAB.ch에서는 상세한 보고서를 받아보실 수 있을 뿐 아니라, 모든 선적 건에 대한 보고서 생성 서비스도 이용하실 수 있습니다(유료 서비스).

저희는 지속 가능한 활동을 위해 회원 가입과 기부에 의존하고 있습니다.

### 연락처 및 추가 정보:

[www.SVFAB.ch](http://www.SVFAB.ch) | [Kontakt@SVFAB.ch](mailto:Kontakt@SVFAB.ch)

**은행 계좌:** PostFinance – POFICHBE

**IBAN:** CH32 0900 0000 1675 6251 1

**수취인:** SVFAB, P.O.Box CH-8021 Zurich 1

**회장:** 다비드 Schlaepfer / Schläpfer, David - **연락처:** [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)  
**주소:** SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



**Schweizerischer Verein** für ausgewogene Berichterstattung  
**Association suisse** pour une information équilibrée  
**Associazione svizzera** per un reporting equilibrato

SVFAB에서 다음 책들을 구입하실 수 있습니다.

주문은 [www.svfab.ch](http://www.svfab.ch) 또는 [kontakt@svfab.ch](mailto:kontakt@svfab.ch)를 통해 하실 수 있습니다.



스위스의 '보도 자료 절반 공개' 정책에 대한 대응으로 불균형적인 보도가 나타나고 있습니다. 이 책은 취재진과 정보원 선정부터 시작하여 조작 기법을 상세히 설명합니다. 이어 누락, 프레임 설정, 시간적 프레임 설정, 연좌제, 감정적 이용, 맥락 제거 등 15가지 원칙을 다양한 사례와 함께 제시합니다. 또한, 우리 자신이 이러한 기법을 어떻게 활용하는지 보여줌으로써 이해뿐 아니라 공감까지 이끌어냅니다.

선택 사양으로 트럼프 카드가 함께 제공됩니다.

오디오북으로도 이용 가능합니다.



인터뷰는 대화가 아닙니다. 누군가 대본을 써놓은 무대입니다.

이 점을 이해하지 못하는 사람은 언론에 먹칠을 하는 셈입니다. 좋은 인용구가 잘못 편집되고, 정확한 발언이 잘못된 맥락에서 전달되며, 솔직한 답변이 자백처럼 포장되는 사례가 발생합니다.

이 책은 언론 비평서가 아닙니다. 마이크 앞에 선 모든 사람을 위한 실용적인 도구 상자입니다. 7개의 장으로 구성되어 있으며, 7가지 도구를 제공합니다. 인터뷰의 본질, 가장 흔한 7가지 함정, 세 가지 기본 원칙(앵커링, 프레임링, 경계 설정), 1시간 만에 인터뷰 준비하는 방법, 몸짓과 목소리 사용법, 인터뷰가 잘못될 경우 대처법, 그리고 인터뷰 후 중요한 점까지 다룹니다.

정치인, 활동가, 기업가, 내부고발자 등 대중의 시선을 받는 모든 사람이 언론의 흐름을 이해하고, 더 이상 수동적으로 따라가지 않고 주도적으로 이끌어갈 수 있도록 돕습니다.

A5 사이즈로 휴대가 간편합니다. 준비, 참고, 후속 조치 및 어려움에 직면했을 때를 위해.

**회장:** 다비드 Schlaepfer / Schläpfer, David - **연락처:** [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

**주소:** SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



**Schweizerischer Verein** für ausgewogene Berichterstattung  
**Association suisse** pour une information équilibrée  
**Associazione svizzera** per un reporting equilibrato



당신은 세상을 제대로 본다고 생각하지만, 사실은 누군가가 씌운 틀을 보고 있는 것입니다. 프레임은 세상에서 가장 오래되고 정교한 조작 기술입니다. 사실 자체를 바꾸는 것이 아니라, 우리가 사실을 어떻게 받아들이고, 어떻게 느끼고, 무엇을 믿고, 어떻게 결정하는지를 바꿉니다. 그리고 이 기술은 효과적입니다. 왜냐하면 우리 모두가 매일 무의식적으로, 당신도 참여하고 있기 때문입니다. 이 책은 딱딱한 교과서가 아닙니다. 재미있고, 직접적이며, 실생활 예시로 가득한 워크북입니다. 다른 사람들이 당신을 어떻게 프레임에 담는지 배우는 것뿐만 아니라, 스스로를 어떻게 프레임에 담는지, 그리고 그것을 의식적이고 공정하게 사용하는 방법을 배우게 될 것입니다.

프레임을 이해하는 사람들은 세상을 더 명확하게 보고, 뉴스를 다른 시각으로 바라보며, 더 자신감 있게 대화를 이끌어 나가고, 다른 사람이 선택한 프레임에 쉽게 휘둘리지 않게 됩니다.

정치, 미디어, 그리고 일상생활에서 가져온 다양한 연습 문제와 구체적인 예시, 그리고 중간중간 웃음까지 더해져 있습니다.

**스타일 있게 프레임을 활용하세요. 프레임이 모든 것을 바꾸기 때문입니다.**

**회장:** 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)  
**주소:** SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1